

平成 23 年社会生活基本調査に関する研究会（第 1 回）議事概要

日時：平成 22 年 5 月 12 日(水) 14:00～16:00

場所：総務省統計局 6 階 特別会議室

- 議題：(1) 社会生活基本調査の変遷について
(2) 前回（平成 18 年）調査の事後分析について
(3) 平成 23 年社会生活基本調査について
(4) その他

出席者： 廣松毅座長、勝浦正樹委員、武石恵美子委員、水野谷武志委員、中垣陽子委員
駒形統計調査部長、千野調査企画課長、栗原労働力人口統計室長、小池企画担当課長補佐、佐藤
解析担当課長補佐、三神社会生活基本調査担当課長補佐、三川審査発表第二係長、高野研究分析
係長、永井企画指導第二係長

議事内容：

- (1) 「社会生活基本調査の変遷について」及び「前回（平成 18 年）調査の事後分析について」事務局より説明の後、意見交換

【主な意見】

- 平成 18 年調査においては、都道府県によっては封入提出や郵送提出を採用するなど、対応がかなり異なっているようであるが、調査方法は統一するべきではないか。
- 封入提出及び郵送提出については、記入状況がこのように悪くなるというのであれば、導入するのは難しい。

- (2) 「平成 23 年社会生活基本調査について」事務局より、実施計画（案）及び調査事項（案）等について説明の後、意見交換
研究会で出された意見等を踏まえ、次回に向けて、事務局においてさらに調査事項案等を精査することとなった。

【主な意見】

- 代替標本は標本数の確保のために行っているということであるが、標本数の確保ということであれば、調査区あたりの世帯数を増やすなど、他の方法も考えられるのではないか。
- 男女共同参画基本計画の第 3 次 5 カ年計画が来年度から始まるが、男女共同参画の進捗状況の定量的な把握等の課題があり、その関係で、個人収入を調査事項に追加することはありがたい。また、国際比較性の向上という観点から今後意見をまとめて出したい。
- 個人収入について、主な仕事からの収入だけではなく、全体を聞き、積み上げて世帯収入を出せるようにしてはどうか。
- 「インターネットの使用について」を廃止するのは仕方ないが、そのスペースをスポーツや趣味・娯楽など生活行動の種目数の拡充にあてられないか。時系列比較については、常に念頭に置いてほしい。なお、種目については、あらためて意見を出したい。
- ワーク・ライフ・バランスに関する項目を充実させるというのはよいこと。ただ、「ふだん家族の介護をしていますか」と「あなたの子はどこに住んでいますか」を個人のフェイス事項から削除し、世帯欄で整理するという点については、原案では介護の対象者が 65 歳以上かどうかなど、情報が落ちている部分もあり、時系列比較ができなくなる。
- 「勤めか自営かの別」の選択肢の配置についての意見であるが、「契約社員」と「嘱託」はアルバイトの右隣がよい。
- 「勤務形態」については、パートタイムでもフルタイム的に働いている人もあり、正規の職員だけではなく雇用者について聞くのが良いと思う。聞き方としては、大きくフルタイムか、短時間勤務かが

